

委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。



説明を受ける委員

産業建設委員会

角田市観光推進事業について

宮城県角田市は、面積・人口ともに嘉麻市と同規模の自治体です。同市は、観光事業に力を入れており、年間30を超過イベントが開催され、毎年約20万人もの観光客が訪れています。そのイベントの中には、市主催のものだけではなく、地元の任意の団体が市と協働して開催されているイベントも多くあります。この視察を通して、やはり地域活性化を図るためには、行政だけでなく、地域と一体となつて、市全体で取り組む必要性を改めて感じました。

総務財政委員会

行財政改革の取り組みについて

昨年10月に、石川県七尾市へ委員会で行行政視察を実施しました。七尾市は、平成16年10月に1市3町が合併し、人口規模は平成22年7月末で59,170人の自治体です。平成22年3月には、「七尾市行財政改革2次プラン」が策定され、市民

と行政が協働で行う新しいまちづくりを推進していくことや、積極的な行政情報の発信、公の施設の利用促進を実施するなど、「財政再建」から「サービス向上」を主とした行財政改革に取り組んでいる自治体であり、嘉麻市より先進的行財政改革について行政視察を行いました。



説明を受ける委員

民生文教委員会

特色ある学校運営について

本委員会では、福井県の永平寺町を視察しました。永平寺町は、福井県のほぼ中央部に位置し、人口約2万人の市で、教育施策に力を入れ、全国学力調査でも常にトップクラスの成績をおさめています。今回視察した志比南小学校は、全校生徒

115名の小さな学校ですが、「つながる」を教育方針とし、学力向上のために様々な工夫がなされています。

校長の裁量で予算執行ができる学校元気創造事業、学校農園事業などの事業展開に加え、学力向上のためにわからない子どもに対し、全職員が個別指導を行っています。時には校長室で校長自らが指導を行うことでもあるということです。



説明を受ける委員